

報道資料

保育園における腸管出血性大腸菌感染症O26の集団感染について（第2報）

平成22年9月6日

奈良市保健所保健予防課
0742-23-6173

平成22年8月24日（火）に発表しました市内のあかね保育園における腸管出血性大腸菌感染症O26の発生について、続報をお知らせします。

1. 患者の状況

(9月6日現在)

月日 内訳	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	9/1	計
0歳児	1					1		1	1	2	1				7
1歳児												2			2
3歳児								1					1		2
保護者													1	1	2

患者数 13名

年齢 保育園児0歳～4歳（男4名：女7名）、保護者24歳～26歳（男1名：女1名）

4名の有症者があったが、いずれも軽症（下痢・発熱）で入院者なし。他の9名は無症状である。また、すでに6名の菌陰性化を確認している。

2. 検便の結果

	対象者数	026 陽性	026 陰性
0歳児	15	7	8
1歳児	20	2	18
2歳児	17	0	17
3歳児	19	2	17
4歳児	17	0	17
5歳児	17	0	17
職員	32	0	32
患者の家族	28	2	26
計	165	13	152

3 . 経過

8月19日(木)	0歳児保育園児1名の病原性大腸菌O26による感染症発生届が医療機関から提出。 保健所は、疫学調査を実施し、有症状者の早期受診を促す。園に対し健康調査、衛生管理、二次感染防止の指導。
8月24日(火)	0歳児クラス園児1名の発生届が医療機関から提出。 第1回対策会議(保健所、園、保育課)を開催。 0歳児クラス全員の検便と、同クラス保護者への説明会の実施。
8月26日(木)	0歳児クラス園児1名及び3歳児クラス園児1名の発生届が医療機関から提出。 第2回対策会議(保健所、園、保育課、園医)を開催。 園児全員と職員全員の検便及び全保護者説明会の実施。
8月27日(金)	接触者検便により0歳児クラス園児1名の保菌を確認。
8月28日(土)	接触者検便により0歳児クラス園児2名の保菌を確認。
8月29日(日)	接触者検便により0歳児クラス園児1名の保菌を確認。
8月30日(月)	接触者検便により1歳児クラス園児2名の保菌を確認。
8月31日(火)	接触者検便により3歳児クラス園児1名と保護者1名の保菌を確認。
9月1日(水)	接触者検便により保護者1名の保菌を確認。 第3回対策会議(保健所、園、保育課)を開催。 保育園施設の消毒のための休園(土曜日)を決定。
9月4日(土)	保育園施設の消毒のための休園。

4 . 予防策

今回の事例を通して、感染拡大の要因の感染経路は、おむつの交換やトイレ使用後の消毒、プール等が原因として考えられることから、保育園等においては、日常的な感染症対策の徹底が重要である。